

2006年度中間決算説明会

常務取締役
岩脇 伸夫

株式会社 クラレ
2006年 11月 2日

1.2006年度中間決算業績概況

1.損益計算書要約

(億円)

	2006年度 上期	2005年度 上期	増減	
売上高	1,913	1,793	120	6.7%
売上原価	1,370	1,273	97	7.6%
売上総利益	543	519	23	4.5%
販売費及び 一般管理費	351	348	3	0.8%
営業利益	191	171	20	11.9%
経常利益	173	150	23	15.1%
当期純利益	99	92	7	7.5%

1.2006年度中間決算業績概況

2. 財務指標

	(億円)		
	2006年度 上期	2005年度 上期	増減
売上総利益率	28.4%	29.0%	-0.6ポイント
営業利益率	10.0%	9.5%	+0.5ポイント
*1 ROA	7.9%	7.5%	+0.4ポイント
*2 ROE	5.8%	5.8%	-

*1 ROA：06年度上期営業利益×2/期首・期末平均総資産

*2 ROE：06年度上期当期利益×2/期首・期末平均自己資本

1.2006年度中間決算業績概況

3.貸借対照表要約（資産）

	2006年 9月末	2006年 3月末	増減	(億円)
流動資産	2,100	2,007	93	06年上期
有形固定資産	1,652	1,594	58	設備投資 167
無形固定資産	352	346	5	減価償却費 128
投資その他の資産	785	867	81	為替影響 29
固定資産合計	2,789	2,807	18	他
総資産	4,889	4,814	75	

1.2006年度中間決算業績概況

4. 貸借対照表要約（負債及び純資産）

(億円)

	2006年 9月末	2006年 3月末	増減
流動負債	854	792	62
固定負債	552	606	55
負債合計	1,406	1,399	7
純資産	3,483	3,415 ^{*1}	68
内少数株主持分	(24)	(24)	0
負債及び純資産合計	4,889	4,814	75
自己資本比率^{*2}	70.8%	70.5%	0.3ポイント

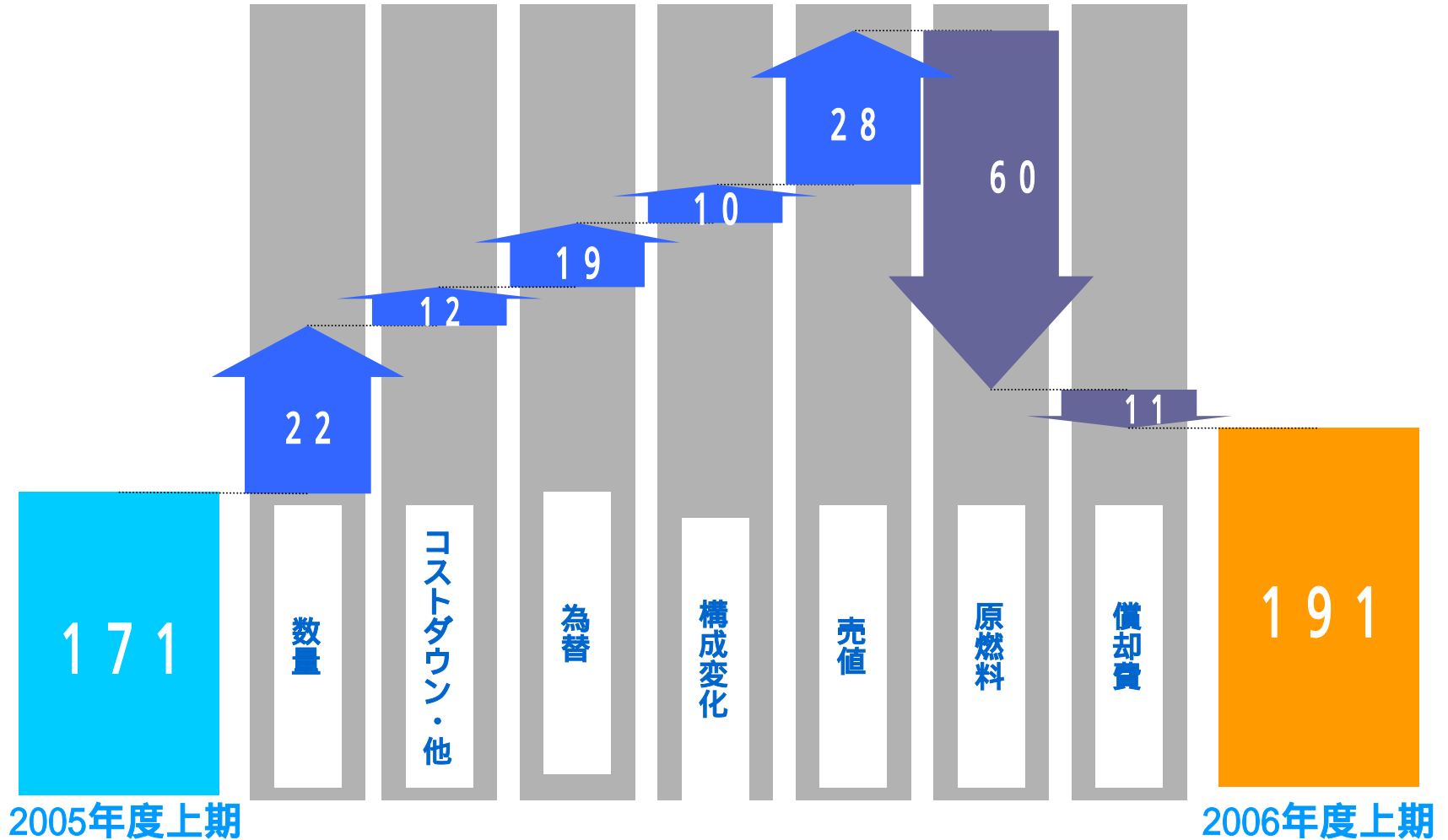
*1 06年3月末は（資本＋少数株主持分）を純資産とした。

*2 自己資本比率=(純資産-少数株主持分)/負債及び純資産合計

1.2006年度中間決算業績概況

(億円)

5. 営業利益増減分析



2.セグメント別概況

1.セグメント別売上高・営業利益

	(億円)					
	2006年度上期		2005年度上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化成品樹脂	1,021	175	900	140	121	35
繊維	531	40	537	50	6	10
機能材料・ メディカル他	361	33	356	36	5	3
全社・消去		57		55		2
合計	1,913	191	1,793	171	120	20

2.セグメント別概況

(億円)

2.化成品樹脂



ポバール
増収・増益

ポバールフィルムはLCD需要増と値上げにより売上拡大。ポバール樹脂はアジアで競合激化、欧州で数量増。PVBフィルムは欧州建築用途が好調。全体として原燃料価格高騰影響を受ける。

<エパール>
増収・減益

ガソリントank向け需要は停滞、食品包装用途は好調に推移。製品値上を進めるも、さらなる原燃料価格高騰の影響あり。

イソブレン
増収・横ばい

「セプトン」は数量好調。香料・農薬中間体は競合激化で厳しい状況。全体として原燃料価格高騰影響を受ける。

メタクリル
減収・減益

汎用品向けペレット好調。シート需要停滞、モノマー事業縮小の影響。

2.セグメント別概況

(億円)

3. 繊維

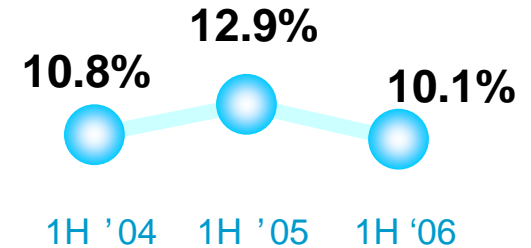
売上高



営業利益



ROA



ビニロン

増収・減益

アスベスト代替のFRC（セメント補強材）用途は堅調。原燃料価格高騰の影響を受ける。

<クラリーノ>

横ばい・減益

軽工品や研磨材等工業用途が堅調。靴用途は停滞。

不織布・

面ファスナー

減収・減益

自動車分野等で数量は好調。衛生材料は不調。原燃料価格高騰の影響を受ける。

ポリエステル

減収・減益

差別化品へのシフトを推進。原燃料価格高騰の影響を受ける。

2.セグメント別概況

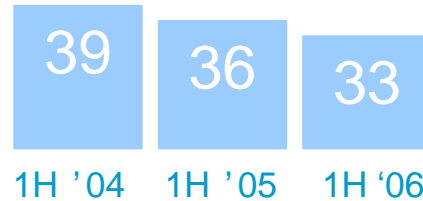
(億円)

4.機能材料・メディカル他

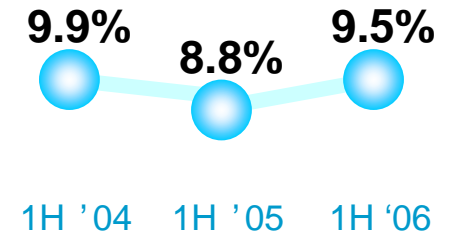
売上高



営業利益



ROA



オプト

減収・減益

RPTV需要減、価格下落により減収。本年度をもってオプトスクリーン事業から撤退。

メディカル

減収・減益

歯科材料は米国で売上増。医療器材は薬価改訂の影響を受ける。

機能材料
・その他

「ジェネスタ」はアジアの電子材料向けが好調。活性炭は浄水用途等が堅調。エンジニアリングその他事業は堅調に推移。

3.2006年度 業績予想

(億円)

	上期	下期	通期
売上高	1,913	1,937	3,850
営業利益	191	219	410
経常利益	173	197	370
当期純利益	99	121	220
設備投資	167	238	405
減価償却費	128	152	280
研究開発費	69	76	145

前提

為替

¥115/ドル

¥145/ユーロ

原燃料

(ドバイ原油) : 61ドル/バレル

(ナフサ) : 50千円/キロリットル

ご参考：2006年度セグメント別業績イメージ

(億円)

	売上高			営業利益		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
化成品・樹脂	1,021	1,059	2,080	175	185	360
繊維	531	539	1,070	40	50	90
機能材料・ メディカル他	361	339	700	33	42	75
全社・消去				57	58	115
合計	1,913	1,937	3,850	191	219	410

ご参考：主要製品の生産能力

* 単位：トン（t）但しポパールフィルムは（万㎡）

	2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下
ポパール		194,000								
		214,000								
ポパールフィルム (万㎡)			3,100	4,600			6,100	9,100		
			4,600	6,100			9,100	12,100		
PVBフィルム							26,000			
							34,000			
エパール		45,000					57,000			
		57,000					69,000			(~ 81,000)
セプトン			31,000			35,000				
			35,000			41,000				
ジェネスタ			3,000		4,000		4,500		5,500	* 2010年 12,500t
			4,000		4,500		5,500		11,000	



kuraray

金額表示は億円未満四捨五入にしております。

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画についての記載は、将来の事業環境・経済状況等に関する現時点での仮定・推測に基づいています。実際の業績は、これと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

